

ヤマブキソウ

Hylomecon japonica

ケシ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 掲載なし

種
子
植
物



低山地の谷沿いの林縁や林内に生える柔らかい多年草。高さ30～40cm。根生葉は長い柄がある5～7小葉の奇数羽状複葉。茎葉も2～3個つく。小葉の縁には切れ込みと不ぞろいの鋸歯がある。花期は4～5月、ヤマブキに似た黄色で直径4cmほどの4弁花をつける。葉や茎を切ると黄色い乳液を出す。本県での分布は西に偏って点在し、いずれの生育地も個体数が少ない。森林伐採や植生の遷移に伴う環境変化、大雨による流出などで、絶滅の危険性が高い。

(写真・文：阿孫久見)

県内分布 英彦山・犬ヶ岳山地、玖珠丘陵地・山地、九重火山群

分布域 本州、四国、九州（福岡・熊本・大分・宮崎）